平成26年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月８日

上 場 会 社 名　　株式会社テレビ東京ホールディングス　　上場取引所　　東
コ ー ド 番 号　　9413　　URL　http://www.txhd.co.jp
代　　表　　者　(役職名)　代表取締役社長　　(氏名)　島田 昌幸
問合せ先責任者　(役職名)　経理局長　　(氏名)　後藤 浩士　　(TEL) 03-5473-3001
四半期報告書提出予定日　　平成25年11月14日　　配当支払開始予定日　　平成25年12月９日
四半期決算補足説明資料作成の有無　　：有
四半期決算説明会開催の有無　　：有　(アナリスト、機関投資家及び報道関係者向け　)

(百万円未満切捨て)

１．平成26年３月期第２四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第２四半期	58,187	4.4	2,387	107.3	2,595	91.5	724	△35.2
25年３月期第２四半期	55,741	5.0	1,151	△15.1	1,355	△17.1	1,118	57.4

(注) 包括利益 26年３月期第２四半期　1,350百万円(　45.9%) 25年３月期第２四半期　925百万円(△25.9%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第２四半期	26.93	―
25年３月期第２四半期	41.56	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第２四半期	86,688	63,112	70.9
25年３月期	85,947	62,217	70.5

(参考) 自己資本 26年３月期第２四半期　61,438百万円　　25年３月期　60,582百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	12.50	―	12.50	25.00
26年３月期	―	12.50			
26年３月期(予想)			―	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,300	3.4	3,900	124.6	4,100	98.3	2,100	―	78.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：無

④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期２Ｑ	28,779,500株	25年３月期	28,779,500株
②　期末自己株式数	26年３月期２Ｑ	1,873,353株	25年３月期	1,872,618株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期２Ｑ	26,906,454株	25年３月期２Ｑ	26,907,084株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）４ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する説明 ……2
（２）連結財政状態に関する説明 ……4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……13
(継続企業の前提に関する注記) ……13
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ……13
(セグメント情報等) ……13

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間（平成25年４月～９月）の日本経済は、企業の設備投資や個人消費が持ち直し傾向にある等、経済政策の効果が徐々に表れ、穏やかに回復しつつあります。ただし、海外景気の下振れ等が景気を下押しするリスクは依然としてあり、引き続き注視が必要です。

このような状況で、当社グループの連結売上高は581億８千７百万円、前年同期比4.4％の増収、営業利益は23億８千７百万円、前年同期比107.3％の増益となりました。また、経常利益は25億９千５百万円、前年同期比91.5％の増益となり、四半期純利益は７億２千４百万円、前年同期比35.2％の減益となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりです。

(地上波放送事業)

放送収入のうちタイム収入は、オープンセールスでの新規広告主の獲得や単日セールスが好調に推移したものの、前年度はロンドン五輪が開催されたこともあり、245億２百万円、前年同期比2.9％の減収となりました。スポット収入は、高シェア広告主の出稿増や販促企画によるシェアアップに成功し、128億２千万円、前年同期比8.6％の増収となりました。トータル収入は373億２千３百万円、前年同期比0.7％の増収となりました。ＢＳ等収入は、13億８百万円、前年同期比68.0％の増収でした。

番組販売収入は、「ＹＯＵは何しに日本へ？」「世界ナゼそこに？日本人」といった新たな番組が売上げを伸ばしましたが、「開運！なんでも鑑定団」「土曜スペシャル」「所さんの学校では教えてくれないそこんトコロ！」が前年度実績を下回り、20億７千９百万円、前年同期比3.3％の減収となりました。ソフトライツ収入は、映像部門では「勇者ヨシヒコ」シリーズ、「モヤモヤさまぁ～ず２」等のビデオグラム販売が、デジタル部門では「虎ノ門市場」が好調に推移しました。アニメ事業では、商品化を中心に国内で堅調で、「ＮＡＲＵＴＯ」「遊戯王」等の海外販売も好調に推移しました。映像事業では、「ＬＯＶＥまさお君が行く！」のビデオグラム、劇場版「ひまわりと子犬の七日間」や「鈴木先生」等が不振だったものの「アウトレイジビヨンド」が好調でした。全体としてソフトライツ収入は、60億８千４百万円、前年同期比17.9％の増収となりました。

イベント収入は、上期に大型イベントがなかったため、１億４千９百万円、前年同期比9.1％の減収となりました。

一方で、営業費用全体では、459億６千１百万円、前年同期比1.1％の増加となりました。

以上の結果、地上波放送事業の売上高は469億４千５百万円、前年同期比3.6％の増収、営業利益は９億８千４百万円（前年同期は１億５千５百万円の営業損失）となりました。

(放送周辺事業)

通信販売関連は、「７スタＬＩＶＥ」を中心としたテレビ通販が引き続き活況でした。季節商品のみならず、調理用品等の幅広い商品ラインナップで売上を底上げしたほか、アベノミクス効果による高額な宝飾類も好調が続き、㈱テレビ東京ダイレクトの売上高は33億９千５百万円、前年同期比9.2%の増収となりました。

一方、ＣＳ放送関連では、加入者数が横ばいだったことに加え、「メタルファイト　ベイブレード」の放送が終了したこと等からライツ売上も前年度から減少し、㈱エー・ティー・エックスの売上高は25億２千３百万円、前年同期比4.9％の減収となりました。

音楽出版関連では、国内印税収入が伸び悩み、㈱テレビ東京ミュージックの売上高は15億６千万円、前年同期比7.7％の減収となりました。

以上の結果、上述３社を含む放送周辺事業全体の売上高は152億９千６百万円、前年同期比4.0％の減収、営業利益は９億５千９百万円、前年同期比15.3％の減益となりました。

（ＢＳ放送事業）

放送収入は、スポット収入が好調でした。番組販売収入は、「まさはる君が行く！ポチたま　ペットの旅」等のローカル局への売上が堅調でした。

一方、費用面では、番組の充実を図るために、４月から「ＢＳニュース 日経プラス１０」等のレギュラー番組をスタートさせたことによる番組制作費の増加がありました。

以上の結果、ＢＳ放送事業の売上高は60億３千１百万円、前年同期比27.4%の増収、営業利益は８億６千２百万円、前年同期比21.5%の増益となりました。

（インターネット・モバイル事業）

インターネット・モバイル事業では、2013年６月20日にテレビ東京ブロードバンド㈱が㈱テレビ東京コミュニケーションズへと商号変更を行い、広告、ＥＣ、コンテンツ課金を総合的に展開する体制へと移行いたしました。

広告では「密室美少女」等のクロスメディア企画の推進、ＥＣでは「テレ東本舗。ＷＥＢ」や新たに開始したクーポン事業の本格化、コンテンツ課金ではスヌーピー等のスマートフォン向けサービスが堅調に推移しました。この結果、インターネット・モバイル事業の売上高は10億２百万円、前年同期比15.9％の増収、営業利益は５千６百万円、前年同期比534.6％の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は525億４千８百万円、前連結会計年度に比して６億６千４百万円の減となっております。これは主に、現金及び預金が12億５千４百万円の減となったことによるものです。

固定資産は341億４千万円、前連結会計年度に比して14億５百万円の増となっております。これは主に、株式の取得、株価の上昇等により投資有価証券が13億７千万円の増となったことによるものです。

（負債）

流動負債は188億９千万円、前連結会計年度に比して３億２千６百万円の減となっております。これは主に、送信所移転損失引当金が５億９千万円の減となったことによるものです。

固定負債は46億８千６百万円、前連結会計年度に比して１億７千３百万円の増となっております。これは主に、繰延税金負債が２億４千万円の増となったことによるものです。

（純資産）

純資産は631億１千２百万円、前連結会計年度に比して８億９千４百万円の増となっております。これは主に、利益剰余金が３億８千８百万円の増となったこと及びその他有価証券評価差額金が４億４千１百万円の増となったことによるものです。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年７月31日に公表いたしました平成26年３月期の通期の数値を修正しております。詳細につきましては平成25年11月８日公表の「2014年３月期 第２四半期累計期間の業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,475	17,220
受取手形及び売掛金	20,608	21,031
有価証券	998	999
制作勘定	9,670	10,612
商品	159	143
貯蔵品	14	12
未収還付法人税等	1,142	453
その他	2,191	2,121
貸倒引当金	△46	△45
流動資産合計	53,213	52,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,024	7,556
その他（純額）	10,325	9,813
有形固定資産合計	17,349	17,369
無形固定資産		
その他	1,018	1,008
無形固定資産合計	1,018	1,008
投資その他の資産		
投資有価証券	9,525	10,895
その他	4,897	4,921
貸倒引当金	△57	△54
投資その他の資産合計	14,365	15,762
固定資産合計	32,734	34,140
資産合計	85,947	86,688
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,184	3,013
短期借入金	1,100	1,100
未払費用	8,117	8,912
賞与引当金	1,171	1,089
送信所移転対策引当金	1,080	489
未払法人税等	366	460
その他	4,196	3,823
流動負債合計	19,216	18,890
固定負債		
退職給付引当金	3,454	3,446
役員退職慰労引当金	16	17
資産除去債務	61	39
その他	980	1,182
固定負債合計	4,512	4,686
負債合計	23,729	23,576

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	20,685	20,685
利益剰余金	32,310	32,698
自己株式	△3,126	△3,127
株主資本合計	59,869	60,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	764	1,205
為替換算調整勘定	△50	△24
その他の包括利益累計額合計	713	1,181
少数株主持分	1,634	1,673
純資産合計	62,217	63,112
負債純資産合計	85,947	86,688

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	55,741	58,187
売上原価	40,145	40,839
売上総利益	15,595	17,347
販売費及び一般管理費		
人件費	3,298	3,376
賞与引当金繰入額	364	380
退職給付費用	168	172
役員退職慰労引当金繰入額	7	6
代理店手数料	7,437	8,011
賃借料	660	657
減価償却費	246	228
その他	2,259	2,124
販売費及び一般管理費合計	14,443	14,959
営業利益	1,151	2,387
営業外収益		
受取利息	16	12
受取配当金	82	129
為替差益	8	0
持分法による投資利益	9	17
受取賃貸料	34	46
保険解約返戻金	36	3
その他	27	18
営業外収益合計	217	228
営業外費用		
支払利息	12	12
投資事業組合運用損	－	6
その他	1	2
営業外費用合計	13	21
経常利益	1,355	2,595

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
特別利益		
固定資産売却益	－	0
投資有価証券売却益	1	0
ゴルフ会員権売却益	0	－
子会社株式売却益	326	－
補助金収入	161	73
受取補償金	－	104
その他	12	－
特別利益合計	500	178
特別損失		
固定資産売却損	－	0
固定資産除却損	18	102
投資有価証券売却損	－	9
ゴルフ会員権評価損	11	－
ゴルフ会員権売却損	0	0
送信所移転対策損失	－	1,100
その他	－	36
特別損失合計	30	1,249
税金等調整前四半期純利益	1,826	1,525
法人税、住民税及び事業税	324	399
法人税等調整額	205	243
法人税等合計	530	642
少数株主損益調整前四半期純利益	1,295	882
少数株主利益	177	157
四半期純利益	1,118	724

四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,295	882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△373	441
為替換算調整勘定	3	26
その他の包括利益合計	△370	468
四半期包括利益	925	1,350
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	747	1,193
少数株主に係る四半期包括利益	177	157

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,826	1,525
減価償却費	1,188	1,252
のれん償却額	132	－
子会社株式売却益	△326	－
賞与引当金の増減額（△は減少）	△214	△81
退職給付引当金の増減額（△は減少）	35	△7
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△27	0
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△8	△3
送信所移転対策引当金の増減額（△は減少）	－	△590
受取利息及び受取配当金	△99	△142
支払利息	12	12
固定資産売却損益（△は益）	－	0
固定資産除却損	18	102
投資有価証券売却損益（△は益）	△1	9
投資有価証券評価損益（△は益）	－	6
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	0	0
持分法による投資損益（△は益）	△9	△17
売上債権の増減額（△は増加）	△13	△423
たな卸資産の増減額（△は増加）	△169	△923
仕入債務の増減額（△は減少）	△189	△170
未払費用の増減額（△は減少）	△1,083	693
前受金の増減額（△は減少）	989	△69
長期未払金の増減額（△は減少）	△396	△29
その他	△551	260
小計	1,111	1,404
利息及び配当金の受取額	88	142
利息の支払額	△12	△12
法人税等の支払額	△424	△306
営業活動によるキャッシュ・フロー	763	1,227

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,020	△11,500
定期預金の払戻による収入	2,520	11,490
有形固定資産の取得による支出	△1,899	△1,066
無形固定資産の取得による支出	△100	△157
投資有価証券の取得による支出	△0	△751
投資有価証券の売却による収入	1	65
関係会社株式の取得による支出	△267	－
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	582	－
貸付けによる支出	△2	△8
貸付金の回収による収入	14	10
その他	12	△13
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,158	△1,931
財務活動によるキャッシュ・フロー		
キャッシュ・マネジメント・システムによる預り金の増減額（△は減少）	95	－
短期借入金の純増減額（△は減少）	△1,500	－
リース債務の返済による支出	△442	△1,162
セール・アンド・リースバックによる収入	321	1,043
自己株式の取得による支出	△0	△1
配当金の支払額	△268	△336
少数株主への配当金の支払額	△140	△118
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,935	△574
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△2,329	△1,264
現金及び現金同等物の期首残高	8,185	5,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,856	4,666

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	地上波放送事業	放送周辺事業	ＢＳ放送事業	インターネット・モバイル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	41,514	8,949	4,593	684	55,741	―	55,741
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,789	6,978	139	181	11,088	△11,088	―
計	45,303	15,927	4,733	865	66,830	△11,088	55,741
セグメント利益又は損失（△）	△155	1,133	710	8	1,696	△544	1,151

（注）１．セグメント利益の調整額△544万円には、セグメント間取引等消去71万円、のれん償却額△132百万円、無形固定資産・制作勘定の調整額７百万円及び全社費用△492百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第２四半期連結累計期間の「地上波放送事業」のセグメント損失が８百万円減少し、「放送周辺事業」のセグメント利益が０百万円増加しております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間(自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	地上波放送事業	放送周辺事業	ＢＳ放送事業	インターネット・モバイル事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	42,891	8,720	5,870	705	58,187	―	58,187
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,054	6,576	161	297	11,089	△11,089	―
計	46,945	15,296	6,031	1,002	69,276	△11,089	58,187
セグメント利益	984	959	862	56	2,863	△476	2,387

（注）１．セグメント利益の調整額△476万円には、セグメント間取引等消去56万円、無形固定資産・制作勘定の調整額△４百万円及び全社費用△528百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。